

# 文芸

## 俳句

米をとぐ手より初秋の水あかり

伊藤 敬子

巢籠りや缶詰開けて濁酒にごりざけ

今関満喜子

秋風の揺らす暦の薄さかな

魚地 照子

潮待ちの港の釣瓶落しかな

宇野とし子

秋風に揺れるカーテン四季感じ

加瀬 俊昭

呆け脳を一喝茄子の芥子漬

川島 通則

独り居の終つひの栖み家秋刀魚焼く

向後 寛

秋愁や石につまずく一人言

佐瀬 輝夫

爽やかに歩け歩けと田んぼ道

土屋美枝子

片手鍋買うや男の秋探し

土屋 義昭

山の宿方言交へ零余子飯むかごめし

西崎さち子

星一つ友や天心月今宵

藤田 雅夫

人生を深刻ぶつていけないよ

自然にまかせ風のささやく

しまりすの枝から枝えリスの道

団栗うばる両手で拝む

小松 藤男

生きている年を追ふ事幸せと

感じる今がありがたきかな

内藤 くに

白檀のお香たくがにジンジャーの

花の香はつかに漂ひてきぬ

田崎 尚美

## 短歌

夫逝きて十年経しも義姉上は

今だ新米届けくれます

芹川 初子

鶏頭の花に遊べや麦藁とんぼ

スイーと飛び来て離れゆきたり

猛暑のなか庭のホースは熱をもち

花の水遣りためらいており

葉の間より鯉が顔出す

布袋葵ほていあおいの花咲く池を見てをれば

墓地前かみづきのお地藏様もマスクして

よだれかけをす真赤まあかな布に

こんなのも読んでいたんだ妻の本を

棚に見つけた「サラダ記念日」

齊藤 博



### 随想誌「地下水」原稿募集

随想誌「地下水」は、横芝光町の文化創造と発展を願い発刊しております。

内容は日常生活での体験や感想、随想、論説、解説等で題材は自由です。

- ①原則として口語体とし、常用漢字・現代仮名遣いによる
- ②用紙は、所定の原稿用紙またはパソコン印刷でも可能
- ③用筆は、黒または青ボールペンか万年筆で、文章は1行24文字、23行とする(匿名はお断りします。)

締切 12月15日(火)

※寄稿いただいた原稿は、原則返却しません。すでに発表したものはお断りします。また、著作権等の侵害にならないようご注意ください。

提問 社会文化課生涯学習班 ☎84-1358

### 消費生活 ワンクリック詐欺に気をつけて!



Q: スマートフォンで検索をしていたら突然アダルトサイトにつながり、「登録完了」と表示され、30万円を請求された。画面に相手の電話番号が表示されて消えないが、電話をしたほうがいいか。

A: 「有料サイトに登録したと利用者に思わせて不当な請求」をするワンクリック請求の手口と思われます。表示された番号等には絶対に電話をしないでください。



注意!

裁判所から「特別送達」が届いた場合だけは、放置してはいけません。放置すると欠席裁判となり、基本的に業者の請求が認められてしまいます。

問消費生活相談室 毎週火曜日 午前10時～午後4時  
☎84-1233